



子育てフォーラム青木 2024

ともに挑戦 ともに感動 ともに成長
～家庭でできる心とからだの健康づくり～



保小中一貫教育委員会事務局

大久保 礼子（青木中学校教頭）

青木村の保小中一貫教育は20年目。昨年「子育てフォーラム青木」の復活から2年目。保育園、各学校の保護者のみなさんにも参加を呼びかけ、PTA役員によるおもてなしコーナーも復活しました。その結果昨年より多くの方に参加していただき、無事に今年度の「子育てフォーラム」を開催することができました。今年も保小中一貫教育の活動は、委員一人一人がアイデアを出し合い、できることに丁寧に取り組み、活動を積み上げてきています。その様子が伝わったフォーラムになったと思います。

今年はフォーラムのテーマを、フォーラム委員が中心にあおき子育てポイントより「子育てって大人も子どもも一緒に体を動かし、一緒に成長して、一緒に歩いていくことが一番大切なんじゃないかな。フォーラムがそのきっかけになればいいな。」と考えました。そしてテーマを『ともに挑戦 ともに感動 ともに成長 ～家庭でできる心とからだの健康づくり～』として11月30日に開催しました。当日は、講演会や分科会（小中連携委員会、特別支援教育委員会）、活動報告（5か条委員会）、展示発表（保小連携委員会、子育て委員会、保健教育委員会）を行いました。多くの皆様と子育てについて意見を交換する場となり、家庭・学校・地域で子育てについて考えるよい機会となりました。

以下、当日の様子について、お知らせします。



1 開会行事について

まず、8時半より会場にて、保育園、小学校、中学校の活動の様子を見ていただく映像を流しました。それぞれの活動の様子を知ってもらえたと思います。

そして、沓掛教育長の「青木村の教育をみんなで考えよう」という言葉とともに始まりました。

開会行事では、5か条委員会が昨年見直しされた5か条の第3条についてのアンケートをとり、その結果を発表してくれました。

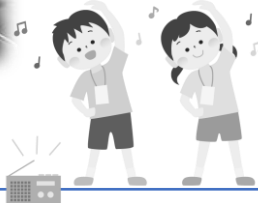


2 講演会について

Sany TOMI の森山雅斗さんをお招きし、「体操を通して青木村を元気に！」と題し、ご講演をいただきました。



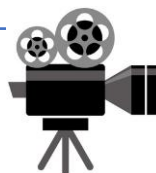
頭の体操から始まって、森山さん自身の紹介、そしてみんなで身体を動かそうということでラジオ体操を行い、体も心も温かくなって元気の出る講演会でした。



- ・頭の体操やラジオ体操など普段なかなか行わないことができ、森山先生の元気でハキハキした講演を通し、演題通り元気もいっぱいいただくことができました。「子どもたちより元気いっぱい！」という最後の言葉が印象的で、働く上で私自身が楽しんで保育にあたることで、子どもたちにとってより良い影響を与えられるのではないかと感じました。
- ・子育てフォーラムに参加させていただいて、体操が心と体の健康に深く関わっていると知ることができました。また、ラジオ体操もあんなに楽しくできるものなんだと思い毎日楽しくやることの大切さがわかりました。本日は楽しい講演会を開いてくださり、ありがとうございました。
- ・イケメンの爽やかな姿、声、それだけで癒やされました。頭も心も使うことができて体も心もほぐれる happy な時間。「来てよかったなあ〜」と思いました。野球で苦労された体験、ラジオ体操の良さについて等学びも多く、充実した時間となりました。
- ・「体操を通して青木村を元気に！」は、参加型の講演でとても楽しく参加することができました。明日からすぐに活用できる、体操を教えて頂き有意義な時間でした。大人は子どもたちより元気に！という言葉が印象に残りました。普段の自分の子どもたちとの関わりを見直す機会となりました。ありがとうございました。（参加者の感想より）



3 映像・展示発表・おもてなしについて



1 階ロビーには、子育て委員会や保小連携委員会、保健教育委員会による今年の活動内容をまとめた展示発表がありました。地域の方との関わりの姿や保育園と小学校の交流の様子、また小学生や中学生の定期健康診断の結果から考える健康・生活習慣について等今年度のテーマにそった温かな雰囲気展示がたくさん並んでいました。

1 階ロビーの映像コーナーや小中 PTA 役員の方々によるおもてなしのコーナーもありました。保小中の子どもたちの元気に活動する様子を見ていただきました。



- ・展示物が見やすく掲示されていて活動や取り組みがよくわかってよかったです。1 階のパネル展示、青木村の温かい教育活動が伝わってきて、子どもたちは幸せだと思いました。
- ・1 階での休憩場所でのコーヒーなどの振る舞いや、子どもたちの活動の展示の様子を見ながらお話しする時間がほっとするいい時間でした。保育園や小学校、中学校の活動の様子から、子どもたちに多くの地域の方が関わってくれていることがわかりました。コーヒーごちそうさまでした。温かくておいしかったです。
- ・1 階のロビーの展示を多くの皆さんに見ていただけてよかったです。

(参加者の感想より)

4 分科会について

今年度も2つの分科会（小中連携委員会、特別支援教育委員会）を開催しました。限られた時間ではありましたが、多くの方々の思いやご意見をお聞きする機会となりました。

第1分科会

「子どもの遊びや運動の現状と 課題を考える情報交換会」



- ・分科会は森山先生も参加し、有意義な話し合いになりました。
- ・子どもと遊びの現状について話し合いを行いました。昔と比べメディアの関わりの時間が長くなっていて、外遊びの時間はとても減っています。いかにして外へ出るように促すか考えさせられました。歩いて学校に通う、児童センターを利用する、自転車に乗るなど普通のことを継続的に行うことが大切なのかなと思いました。

(参加者の感想より)

第2分科会

「発達障がいへの理解」



- ・たんととの所長の飯島さんの思いを聞くことができたのが良かったです。地域で生きていくために、知ってる、わかっている人が多いことが大事だということが印象に残りました。たんとのおたよりを全戸に配布している、というのはとても驚きましたが、必要な取り組みだと思いました。
- ・第2分科会ではたんととの飯島さんのお話を聞いて、障がいへの理解を深めることや考え方を变えることで全ての方が生きやすい共生社会になっていくのではないかと感じました。貴重なお話をありがとうございました。
- ・特別支援の分科会では、障がいを理解することが、その子の生きやすさを支援することにつながるということをたんととの飯島さんから学びました。あっという間に時間が過ぎてしまい、もっとたくさんお聞きしたかったです。

(参加者の感想より)

最後に

今年の「子育てフォーラム青木」を通して、保育園や小中学校そして青木村の子育てに関わるみなさんが集まり、同じ話を聞く、それぞれの場所でどのような活動をしているかお互いに伝え合うことが改めて大切な機会だと思いました。休日なので、参加者はこれ以上集まりにくいかもしれませんが、このフォーラムに参加した人たちがまたそれぞれの場所で学んだことを生かしなが、さらに村の子どもを大切に育てていくことが大切なんだろうと思いました。

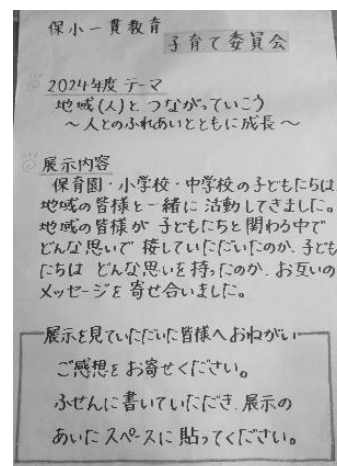
今後子どもを中心に、保小中が連携をとりながら「ふるさと青木村を愛する子ども」を育てていきたいと考えております。保護者、地域の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

子育て委員会展示発表

《地域（人）とつながっていこう》 ～人とのふれあいとともに成長～

〈保小中一貫教育子育て委員会〉

保育園・小学校・中学校の子どもたちは、地域の皆様と一緒に活動してきました。地域の皆様が子どもたちと関わる中で、どんな思いで接していただいたのか、子どもたちはどんな思いをもったのか、お互いのメッセージを寄せ合い伝えあうことにしました。



保育園は、【地域の方と交流】・【地域の方と畑作り】・【参加型保育の感想】を展示しました。



小学校は、2年生【寺子屋とサッカー教室】・3年生【地域から学ぼう】・4年生【義民太鼓】・5年生【青木で体験する5年生】・6年生【りんごで青木をPR🍏】の展示をしました。



中学校は、【アイリスセミナー】・【義民太鼓】・【郷土芸能村松西「神楽」】の展示をしました。



園児、小学生、中学生がそれぞれにたくさんの地域の方と交流し、ふれあい、多くのことを教えていただき、成長していった子どもたちの姿が見られました。また、関わってくださった

方々から温かいメッセージが寄せられており、たくさんの方々とつながっていることが伺えました。ご協力していただいた全ての皆様ありがとうございました。



フォーラムの展示は終わりましたが、今後はそれぞれの保育園・小学校・中学校で展示し、まだ見ていない保護者の皆様や地域の皆様に見ていただければと思います。

子育て委員会では、これからも子どもたちが地域の方と交流し、つながっていく様子を見守っていきたいと思います。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

保小連携委員会展示発表

～小学校と保育園の交流を通して～

〈保小中一貫教育 保小連携委員会〉

保小連携委員会では「運動会や音楽会などの行事に参加し、園児と小学生の交流を行う」「保育園から小学校への移行を図る」という内容のもと活動してきました。コロナ禍が明け以前のように、青木村保育園とまめっこ、青木村小学校の交流を行うことができました。

6月1日 小学校運動会

晴天のもと小学校運動会が開催され、来年1年生になる子どもたちはかざぐるま拾いに参加しました。「よーいどん」の合図のあと、自分の好きな色のかざぐるま目指して元気に走っていききました。最後に校長先生の前まで行進し、かざぐるまを空に掲げ立派に歩いてくる姿に小学校への期待が高まった様子でした。



10月16日 小学校音楽会リハーサル



初めての小学校訪問ということで体育館の大きさに驚いたり、ちょっぴり緊張気味の子どもたちでした。

リハーサルは4年生、1年生、2年生を見せていただきました。元気に歌っている姿、鍵盤ハーモニカを演奏している姿はとてもかっこよく、「とてもよかったです」「上手でした」など感想を発表する保育園とまめっこの子どもたちでした。

11月6日 ハロウィン練り歩き

練り歩きに向けて1人1人衣装を手作りしました。魔法使い・おばけ・かぼちゃなど子どもたちが自分で着たいものを考え、カラーポリ袋を使って服を作ったり、折り紙や、画用紙をつかって飾り付けをしました。当日は1年生とペアになり手を繋いで教育委員会・役場を目指して歩きました。最初は緊張していましたが、徐々に緊張もほぐれると少しずつ会話が聞こえてくるようになりました。「トリッ



ハロウィン練り歩き

ク・オア・トリート！お菓子をくれなきゃいたずらしちゃうぞ！」とみんなで声を合わせ、無事にお菓子をもらうことができました。

11月8日 焼きいも会

1年生からご招待いただき、焼きいも会に参加しました。保育園からも地域の沓掛さんの畑で収穫したサツマイモを届けたりしたので、とても楽しみに期待していました。お芋が焼けるまでの間はレクリエーションや鬼ごっこをして遊びました。2回目の再会に嬉しそうな子どもたちでした。焼き芋はとっても甘くておいしかったです。



小学校へさつまいもを届けたよ



焼きいも会



「小学校ってどんなところだろう？」「どんなお兄さん、お姉さんがいるんだろう？」と小学校に対して不安を抱くお子さんもいますが、今回の交流を通して少しでも安心することができたのではないかと思います。カッコイイ姿を見せてくれた1年生。年長組の子どもたちにとって憧れの存在です。今後の活動では1月に小学校体験入学に参加する予定です。来年1年生になる子どもたちと1年生が沢山の交流ができるのも青木村の良さ、素晴らしいさだなと感じます。これからも温かい交流ができればいいなと思います。



保健教育委員会展示発表

～学校保健委員会から見えてきたこと～

＜保健教育委員会＞

8月2日に今年度の小中合同の学校保健委員会が青木小学校ランチルームで開催されました。今年度のテーマは、「定期健康診断の結果から考える青木小中学生の健康・生活習慣について」



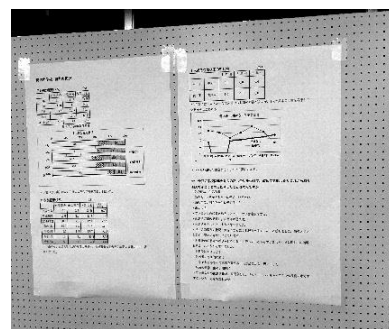
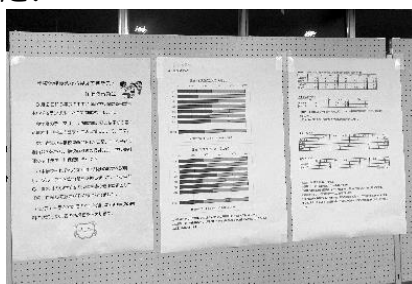
です。参加者は、PTA 三役・子育て委員会の皆さん、学校歯科医の櫻井先生、学校薬剤師の櫻井先生、村の保健師さん、学校職員です。小中学校それぞれの定期健康診断の結果を各校の養護教諭が説明をし、グループに分かれて意見交換しました。視力のことや身体の様子、歯についてなどいろいろな意見交換ができました。その中から、青木村の小中学校の児童生徒の健康課題として「歯」についての意見が多く寄せられました。1人でむし歯を数本り患しているケースやむし歯になったことがある児童生徒が多くなってきていることが健康診断の結果考察からわかります。

話し合いをしてみて、「改めて意識したりこれから取り組んでみようと思ったりしたことは何ですか？」という問いに、

- ・歯は大切
- ・歯の大切さを子どもたちに伝えていきたい
- ・歯磨きの見直し、歯磨きの習慣
- ・早めの受診
- ・子どもの歯磨きの状況を大きくなるにつれて把握できていないと感じた
- ・家族で歯の大切さを考えたい



などの感想がありました。



保健教育委員会は、昨年度は月一度「保健井戸端会議」としてメンバーが集まり、学校のことや保育園のこと、村での検診などの様子をざくばらんに話し合う機会を設けました。今年度も同様に7月と9月に委員会を設け、「青木村 健康寿命延伸計画」をもとに、学校や保育園、村の健康課題は何なのか、近況の様子などを話し合いました。話に拳がったことは、朝食のことや排便習慣のこと、歯に関することなど様々です。その中でも、歯に関する話題が多く挙げられました。そこで、このフォーラムで村の児童生徒の歯の実態を知ってもらいたいと思い、今回展示発表させてもらいました。

これからも学校の健康診断や村の検診等を通じて、子どもたちの心身の健康に関心を持っていただき、青木村の健康寿命延伸計画に沿っていけたらと思います。

編)集)後)記)

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。来月号では、5か条委員会の発表と分科会の様子をお伝えします。

